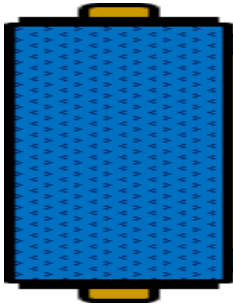




## 中央大交流集会 in 山梨！！ (^o^)/ その1

行ってきました富士山！じゃなくて「7/11～13 第19回自治労青年女性中央大交流集会！」「なんだそれ？」って方にはちょっとおさらい



中央交とは、

- ①2年にいちど開催される全国規模の集会です。毎回数千人の参加者が集まり、職種別の実態討論や交流を行います。
- ②サッカーワールドカップ決勝トーナメントのさなかに開催され、視聴率を大幅に低下させてしまったとかしてないとか(笑)



サッカー完全無視で空知からは「砂川市労連 玉川・滝川市職労 工藤・岩見沢市職 高尾」の3名が参加してきました！（北海道49名。全体参加者1,663名）

### 北海道団結団式&1日目

集会に先立ち、前日に北海道の参加者みんなで結団式を行いました！

北海道に持ち帰れるようしっかり学び交流するという意識をみんなで共有した後は、集会中の禁酒にそなえて飲んで飲んでまた飲んで(笑)

1次会は団長や並みいる先輩を差し置いて、滝川市職労 工藤さんの団結ガンバローで締めました (^o^)/ (左の見切れているのが工藤さん(笑))



さあ、1日目スタート！

まずはみんな自治労ソングで大盛り上がり！  
湘南乃風は流れてませんよー

#### 基調提起 (佐々木本部青年部長)

基調提起では、2014春闘は政府介入により「賃上げ春闘」となったが、年収200万円以下で働く労働者(ワーキングプア)は1100万人にのぼり、格差が解消されていないこと。消費増税により実質の賃下げ状態であることが話されました。また集団的自衛権行使容認等の軍事力強化の動きの裏には、経団連の要請があり、武器兵器の生産販売により利潤を得ようとする資本のねらいがあることを見抜いていかなければならないこと等を学習しました。

↑玉川さんへろへろですよ(笑)

## 基調講演(埼玉大学 伊藤 修氏)

「こんにちの経済と暮らしの焦点」と題し、講演をいただいた。

① 安倍首相は経済政策で支持率を獲得し、それを地盤にして集团的自衛権等の右翼政策を推し進めようとしている。

② その経済政策も、現在賞味期限が近づいている。金利上昇により、国債の値下がり起きれば、大量所有しているゆうちょ銀行や日本銀行は経営に大打撃を被る。その損失を国が補てんすることになればその財源は…。



## 特別報告

- ① 原発事故から3年が経過した福島県大熊町の現状について、お話を聞きました。混乱した状況にも関わらず人事異動が行われることや、業務量の差が職員同士の軋轢を生んでしまっていること。住民を見捨てられず、避難先の家族と離ればなれで仕事しているという過酷な現状を知りました。
- ② 平和の旅アウシュヴィッツを訪ねた方のお話を聞きました。収容された人々は貨物列車で何十時間も立たされ、到着すると医師の指先ひとつで選別されて労働力にならないものは即ガス室に送られたそうです。非人道的な行為が平気で行われ多くの命が失われました。

## 文化祭典(構成詩)

3つの地連から発表がありました。印象的だったのは、北進地連の保育職場における合理化の実態でした。最低限の人員配置により、有休どころか夏季休暇も満足に取得できず、仕事のお昼休みもフリーの保育がないため、子ども寝かしつけるまで自分は休めないというものでした。さらには、残業をしているのは個人の能力の問題では？仕事量や合理化の影響が個人の責任されているというものでした。しかし、職場実態や時間外勤務実態等について調べて交渉をした結果、今までよりも1時間多く超勤をつけられるようになったそうです。声を上げるといことはやっぱり大事なんですね！



## 1日目の締めはミスターインターナショナルに任せた！(笑)



初めての参加で気負っていた29歳玉川です。北海道団結式では、学習や交流を通して北海道の中での仲間作りを行い、その結果集会当日は一致団結した姿(主に労働歌の熱唱)を全国の仲間に披露することが出来ました。集会1日目では佐々木部長の挨拶や伊藤教授の基調講演から問題の本質を見抜く力(何が原因で目的は何か?)をそれぞれが身に付けることの必要性を感じ、特別報告の中で福島の仲間が原発事故の影響から妻や子どもたちと離れて過ごさなければいけない現状に、同じく妻子を持つ身としては、今後同じような目に誰も遭わせたくないと改めて決意しました。台風一過による温帯低気圧の影響で、気温は35℃。1600人強が密集した体育館の中でも汗だくになりながら多くのことを吸収できた初日でした。この勢いのまま2日目に向かいます。